

NPO法人 教育支援グループ

Ed. ベンチャー

2021年 活動予定

私たちはこんな活動をしています

- ◆ 外国人や弱い立場の子どもたちの支援 ◆
- ◆ 学習に遅れる子どもたちの支援 ◆
- ◆ 学校が必要とするさまざまな支援 ◆
- ◆ 教職員とともに教育を考える活動 ◆
- ◆ 市民とともに教育課題を考える活動 ◆

☆弱い立場の者が大切にされる社会を目指して☆

☆多様な価値観や文化が豊かさにつながることを目指して☆

弱い立場にいる子どもたちの幸せを願って

Ed. ベンチャーが立ち上がってから十年が経ちました。

しかし、子どもたちを取り巻く状況はますます厳しいものになりました。

貧困と格差は拡大し、家族はますます社会の中で孤立しています。

グローバル経済の進行は、子どもたちにさらなる競争を求め
学校も家庭も子どもたちが安心できる場所ではなくなりつつあります。

社会の行く先がますます不透明になり

「不安」ばかりが人々の心を占める時代となりました。

それでも、私たちは粘り強く、子どもたちが「必要とするもの」を提供するために
これからも取り組みを進めていきます。



2021年4月からの活動予定

※変更になる場合がありますので、詳しくは事務局にお問い合わせいただくか、ホームページをご覧ください。

学校支援事業

●理論学習会

教育と貧困の問題をベースに、学校や学びを考えていきます。様々な社会的な課題が学校や一人の教師に降りかかっている現状の中で、何を引き受け、何をすべきか、教師としての専門性を自分たちの言葉と経験で形作る場とし、実践へのつながりを意識していきます。

- 5月15日(土) 13:00～15:00
「学級づくり①ー学びと居場所の空間 (仮)」
講演：柿本 隆夫 氏
- 6月2日(水) 「学級づくり②ー学びと居場所の空間 (仮)」
実践報告：小・中学校教員
- 10月6日(水) 座談会「今の学校どうなってるの？」
- 11月10日(水) 講演「教育と福祉のはざままで～垣根を越えた連携
を目指して (仮)」
講師：大和市社会福祉協議会

【方法】原則第一水曜日 19:00～21:00
対面とオンライン (Zoom) のハイブリッド (予定)

●授業研究会

石井英真著『授業づくりの深め方ー「良い授業」をデザインするための5つのツボ』をテキストにしなが、1時間単位を基本とした実際の授業を提案してもらい、それをもとに研究を深めていきます。



授業研究アドバイザー：
石井英真氏 (京都大学大学院准教授)
授業提案：神奈川県・東京都の小・中学校教員
日程予定：隔月1回 (6月・8月・10月・12月)
※授業提案者の新年度の授業進度をみながら日時を決定します。
方法：オンライン (Zoom) 20:00～21:45

※2020年1～3月でテキストの読み合わせを終えています。内容等を知りたい場合には、事務局までお問い合わせください。担当者につながります。

●スタディツアー〈Zoomによるオンライン〉

今年度は、新型コロナウイルスの感染状況を鑑み、現地訪問を中止します。代わりに、「虐待」をテーマとする事例研究会を開催します。コロナ禍で、虐待の数は増加傾向にあります。虐待のケースは、学校だけで取り組める問題ではないため、児童相談所などの関係機関との連携が求められます。

実際に虐待通告をした事例などを手がかりに、虐待が疑われるケースへの対応を検討します。それをもとに研究を深めていきます。

- 6月19日(土) 14:30～16:00
授業担当者より事例報告と今後の進め方の検討
日程：隔月 (8月・10月・12月) 原則土曜日 14:30～16:00
オンライン (Zoom)

●産休・育休・働くママ・パパのための学習会

育児中の方が社会的に弱い立場になったり、学習に参加できないことを「自己責任」の中に押し込めたりしてはいけないと考えます。

そのためには、育児中でも学習しやすい環境を整えることは必要であり、開催する側は育児中の方のニーズや生活の実態にも意識を向けて学習会の形を考えることが望ましいと考えます。

今年度は、Ed.ベンチャーの他の活動に育児中の方も参加できるための工夫や、情報の発信方法などを考え、他事業に提案していく役割を担います。

●外国人の子ども理解のための学習会

【学習会】と【事例研究会】の二本立てで、外国人の子どもへの理解を深めていきます。

【学習会】対面とオンライン (Zoom) のハイブリッド (予定)

○4月21日(水) 19:00～

講演：外国人の子どもたちの困り感

講師：清水 睦美氏 (日本女子大学教授)

○8月5日(木) 14:00～

講演：子どもたちがルーツを知る意味

講師：清水 睦美氏 (日本女子大学教授)

講師：チャン・ソワンナリット氏 (NPO 法人外国人支援ネットワークすたんどばいみー)

【事例研究会】月1回(4、8、12月は除く) 全9回

○水曜日 19:00～21:00 1・5・7・10月

○土曜日 13:30～15:30 2・3・6・9・11月

●インクルーシブな社会を目指す学習会

子どもたちが多くの時間を過ごす学校そのものが、子どもたちの多様性を認め合える環境になっているのか、学校が全体としてインクルーシブな環境となっているのかについて、考えを深めていきます。

①5月12日(水) 19:00～ビデオ視聴学習会

「多様性を学級に組み込む方法ーイエナプランに学ぶ」

②6月9日(水) 19:00～ビデオ視聴後の参加者によるディスカッション

「多様性を組み込む学級づくりービデオ視聴から考えたこと」

③9月10日(金) 19:00～

学習会「児童養護施設と子どもたち」講師：山口 貴子氏 (児童養護施設職員)

④11月17日(水) 19:00～

読書会：西郷孝彦著『校則なくした中学校たったひとつの校長ルール』

⑤12月4日(土) 13:30～

講演：教室における「権力」をつかむ 講師：清水 睦美氏 (日本女子大学教授)

【方法】オンライン (Zoom)

子ども支援事業

●愛川学習支援 Friends☆Star 教室

子どもたちのルーツを確かなものにするためのスペイン語教室を開催します。ピアサポートを意識した教室運営を目指し、ルーツを同じくする年長者をボランティアコーディネーターとして育成していきます。

外国人支援事業

●子どもの居場所・学習支援教室 (エステレージャ・ハッピー教室)

外国にルーツのある子ども同士をつなぐを深めることを意識して、学習支援を行います。

[日時：毎週土曜日 10:30~12:30 場所：大和市立林間小学校等]

2007年、「小学校を卒業する外国人の子どもたちが、中学校に入って勉強についていけないか心配。外国人の子どもたちの勉強を見てくれる教室を創ってほしい。」という、ある小学校の国際教室の先生の言葉から始まった学習教室です。子どもたちの関係性を築いていくことを念頭に置きながら学習支援や日本語の習得の支援を行っています。



普及啓発事業

●教育相談

学校・教師・行政・子ども・保護者・外国人当事者・支援団体等の各種相談に応じています。これらの相談事業をとおして、当事者のニーズの把握と必要な支援を行うための事業の展開も検討していきます。

ご相談のある方は、気軽に事務所にお問い合わせください！一緒に考えていきましょう！

●多言語若手通訳者派遣

若手の通訳者の育成を目的として、多言語の通訳者派遣を行っています。経験が浅い部分を、Ed.ベンチャーのスタッフが通訳場面に付き添ったり、事前事後にフォローしたりします。今年度は、スペイン語・ベトナム語・カンボジア語・タガログ語の4言語の若手通訳者の派遣を行います。通訳・翻訳が必要な場合には、HPに申込書等がありますので、そちらをご覧ください。

●広報紙「Ed.ベンだより」の刊行

隔月で広報を刊行しています。「世界の視点を持って私たち自身の足元を見つめ、世界の動向を視野に入れつつ、足元の活動に取り組む」という目標のもと、現状分析に力を入れています。2014年の発行から7年で42号を数えています。今年度も、事業の案内や報告とともに、教育にかかわる社会状況を分析するための視点をお届けしたいと思います。既発行分はHPでご覧になれます。



●教育講演会

毎年2月、市民向けに教育講演会を行っています。教育・学校・子どもにかかわる課題を、社会・政治・経済状況に結びつけて検討しています。

2021年の教育講演会は、コロナ禍下にあって検討すべき課題が多くあったことから5回の連続講座としました。

2022年の企画は、夏頃から検討していきます。希望する講演者の情報をいただくことも大歓迎です！



行動宣言

世界は今、新自由主義と資本のためのグローバル化によって、格差と分断に覆われている。分配の不公平さによって生み出された紛争や戦争、貧困は、人々から日々の人間としての営みの意味をも奪ってしまった。また、中産階級の世界的凋落は、煽動的な言葉に刺激され、かれら以上に持たざる者達への排除や攻撃へと向かい始めている。それでも、あまりにも肥大化した金融資本経済は、理性なき野獣のようにとどまるところを知らず、さらなる格差と分断の中に私たちを落とし込もうとしている。規制の枠組みは、その効力をはっきりと失いつつあるのだ。

日本においても格差と分断は、大きく私たちの日常にその暗い影を落としている。子どもの相対的貧困率や大学生の奨学金問題、声高に叫ばれるヘイトスピーチや津久井やまゆり園での許されざる事件…。出口の見えないことへの徒労感と諦め…。

資本が海外へ逃げないために、世界一企業が活動しやすい国にする。と為政者が発言するとき、それは、働く者にとっては、労働の意味や賃金、労働時間が限りなく無法に搾取されることでもあったのだ。経済が国家を超える姿は明確になり、政治はその目的を違えつつあると言える。そのため、格差や分断の問題は、巧妙に隠蔽され、異議を唱えることもできず、人々はただ窒息しない程度に息をしているだけなのかもしれない。

他方、日本は世界の中でもトップを切って縮小社会に突入した。だが依然として関東圏への一極集中はますます顕著であり、地方における地域経済とコミュニティの破壊は加速度を増している。地方と高齢者の切り捨てが、今はっきりと始まった。

熱に浮かされたように、それでも発展・拡大する社会を求める政治・経済の流れに、ゆがみはますます激しく、私たちを苦しめることになるだろう。

私たち Ed. ベンチャーは、教育支援グループとして、弱い立場に立つ子どもたちの支援に取り組んできた。それはある意味、現在の社会の中での「補完」的な役割を担うことであったし、また、分配に生じた誤差を再分配し直す取り組みであったとも言える。しかし、この数年の世界や日本の状況の変化を考えると、私たちは私たちの行動の原理を変えざるを得ないところに来ている。つまり、「補完」する立場から、「異議」を唱え、「提起」する立場へと移行するということである。

これからの社会が進むべき道を少しでも明確にしつつ、その視点から教育を、そして弱い立場に立たされている子どもたちをとらえ直していかなければならない。

- 1 Ed. ベンチャーは、成熟社会を目指し、競争的でない、多様性を認め、持続可能な社会を構築する視点から、教育や私たちの活動を見直します。
- 2 1の視点での実践や研究、支援を積極的に行います。
- 3 外国にルーツを持つ子どもたち、障がいを持つ子どもたち、貧困におかれた子どもたちへの教育支援を行います。
- 4 原子力発電への反対を表明し続けます。

ぜひ私たちの活動に ご参加・ご支援・ご協力ください。

正会員 (①②のいずれか、総会での議決権があります)

- ①年会費 1口6000円 1口以上
- ②積極的に活動に参加している学生

賛助会員 (総会での議決権はありません)

活動に賛同する寄付 (任意の金額)

任意の金額のご寄付により、賛助会員となり、
寄付をいただいた年は会員サービスを正会員同様に
受けることができます。

■ 入会・寄付のお申し込み方法

入会申込書にご記入いただいて事務局にお持ちいただくか、Eメールまたはファックス、郵送にてお送りいただき、下記の方法にて会費をご納入ください。入会申込書をお持ちでない方は、ホームページからダウンロードしていただくか、事務局にご連絡ください。

■ 会費納入方法

【年会費・賛助会費(寄付)振込】

三井住友銀行 大和支店 普通 1368176
NPO 法人教育支援グループ Ed.ベンチャー
横浜銀行 中央林間支店 普通 6008076
NPO 法人教育支援グループ Ed.ベンチャー
ゆうちょ銀行 振替口座 00210-5-46744
(特非)教育支援グループ Ed.ベンチャー

他金融機関からの振込用口座番号 ○二九 (ゼロニキュウ) 当座 0046744.

お問い合わせ先 Ed.ベンチャー事務局



〒242-0007

大和市中中央林間 3-16-12

グリーンコーポ中央林間107

(小田急江ノ島線「中央林間」駅西口徒歩5分)

TEL & FAX 046-272-8980

メールアドレス

toiawase@edventure.jp

ホームページ

<http://edventure.jp>

